

トヨタ純正 オートアラーム

取付要領書

本書はオートアラームの取り付け要領について記載してあります。取り付け前に必ずお読みいただき、正しい取り付けを行ってください。別冊の「取扱書」は、必ずお客様にお渡しください。

品 番

品 番	オートアラームセット	08625 - 52160
-----	------------	---------------

構成部品

No.	品 名	品 番	個数
①	セルフパワーサイレン	0862A-00010	1
②	両面テープ (60 × 50)		1
③	ハーネス	———	1
④	フードロック ASSY	53510-52750	1
⑤	クランプ	———	5
⑥	取扱書	———	1
⑦ (注)	セキュリティラベル	08586-00060	2

(注) セキュリティラベルはお客様に貼っていただくため、必ずお客様にお渡しください。
貼付位置については、取扱書を参照してください。

取り付け上の注意事項

この取付要領書では安全な作業をしていただく為、特にお守りいただきたいことを次のマークで表示しています

- ⚠ 注意 …… 注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を破損する等の恐れがあることを記載しています
 📢 アドバイス …… スピーディーに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています

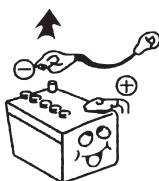
⚠ 注意

バッテリー接続中に作業を行う場合は、エアバッグセンサー等に衝撃を与えないよう充分注意してください。

- (1) 車を水平な場所に停車してパーキングブレーキを引き、輪留めを確実に行ってください。
- (2) 下回り作業中は、安全に配慮し、エンジン始動及び乗車は絶対しないでください。
- (3) 通常のキーによるエンジン始動・停止、電気式ドアロックが正常に作動する事を確認してください。
- (4) 車両部品の取りはずしに際しては、タッピング・スクリューやボルト、ナット類を紛失しないよう部品毎に整理し、復元作業時に間違いのないよう配慮してください。また、車両及び取りはずした部品に傷を付けないよう取り扱いには充分注意してください。
- (5) バッテリー復元作業終了後、車両機能部品に初期化が必要な部品がありますので、作業終了後には必ず初期化作業を行ってください。

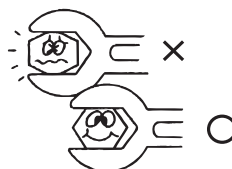
取り付ける前に

- バッテリーの(－)側ケーブルをはずす

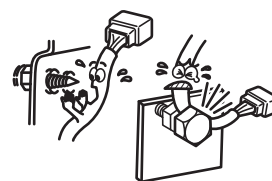


部品の取り付けは

- 寸法にあった工具を使う



- 裏側に注意し、ハーネス噛み込みに注意する



配線は

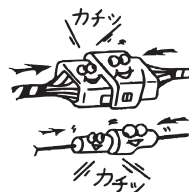
- コネクターは本体を持ってはずす



- 車両ハーネスとまとめたり、クランプを使用して固定する



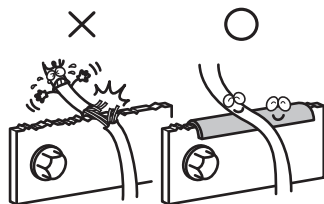
- コネクターは確実に接続する



- 無理に引っ張らない



- バリ・エッジ部は保護シート等で保護する



- 車両部品が確実に復元できるようハーネスを処理する



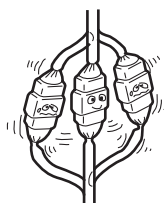
クランプは

- クランプは締め過ぎない

- カットした末端が他のハーネスと接触しないように注意する

- 余った部分をカットする

- コネクターを異音がないようにクランプする



取り付け完了後は

- 取りはずした車両部品は確実に復元する



取り付けに必要な工具等

- ・ 一般工具、各種リムーバー、ニッパー、ヤスリ、ビニールテープ、保護テープ、保護メガネ、ウエス、精密ドライバー ㊦、脱脂剤等【イソプロピルアルコール (IPA) 純度 100% 推奨】、トヨタエレクトリカルテスター、GTS+
- ・ 参照マニュアル……… 修理書、配線図集等

始業点検

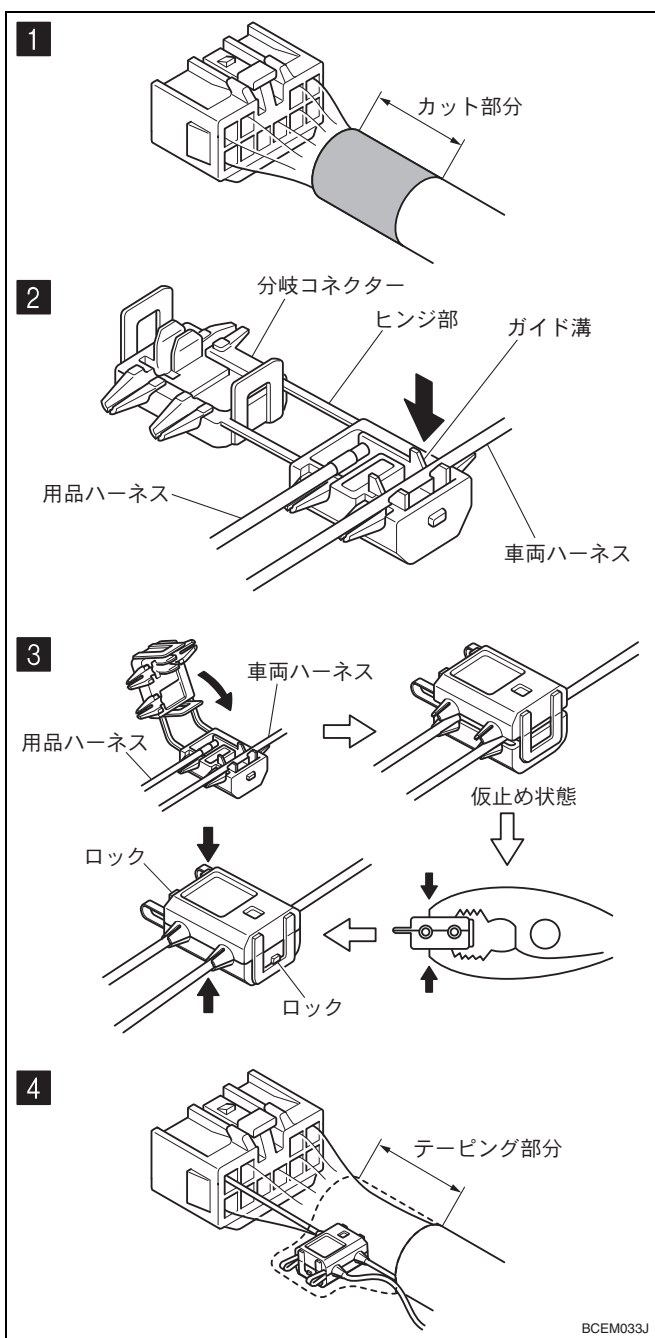
ドアロック・パワーウインド・ハザード等、電気系統の作動確認を実施してください。

分岐コネクターの接続方法

分岐コネクタ使用上の注意事項

- (1) 車両のビニールチューブ等をカットする際は、車両ハーネスを傷付けないよう充分注意してください。
- (2) 分岐コネクタは、他の用品が装着されている場合でも必ず、車両ハーネスに接続してください。
- (3) 分岐コネクタ接続時に、クリック音と合わせてロック（2箇所）が確実に嵌合した事を確認してください。
- (4) 接続するコネクタの端子番号及び、用品ハーネスと車両ハーネスの線色を確認し、誤った接続をしないよう充分注意してください。
- (5) 同一コネクタに複数の分岐コネクタを接続する場合は、接続位置をずらしてください。
- (6) ヒンジ部が破損しても確実にロック（2箇所）できれば性能上問題ありません。
- (7) 一度使用した分岐コネクタは再使用しないでください。誤って接続した場合、分岐コネクタを車両ハーネスに付けたまま用品ハーネスを切断し、ビニールテープで絶縁処理してください。

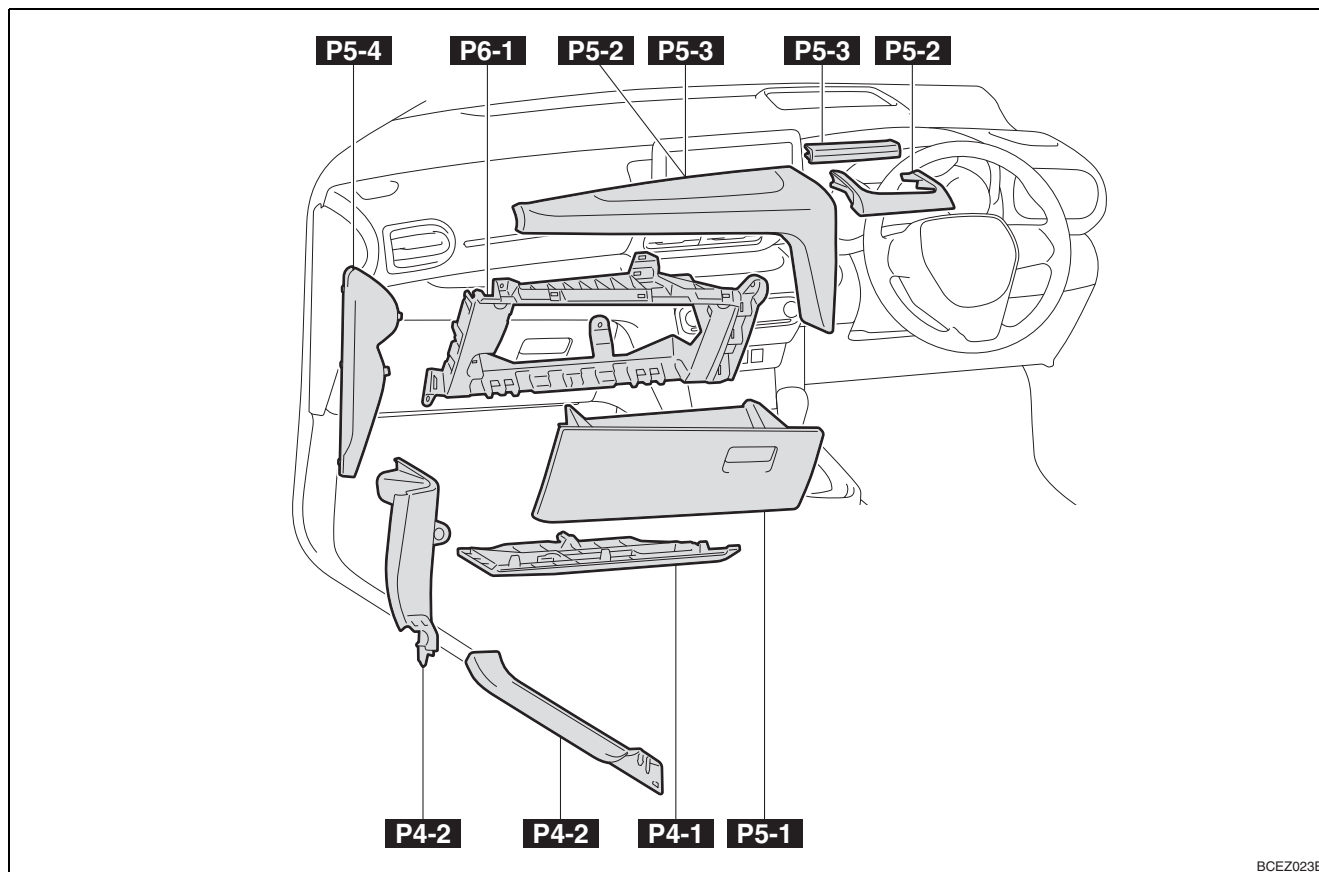
分岐コネクタの接続手順



- 1** 接続する車両ハーネスがビニールチューブ、ビニールテープ及びコルゲートチューブで覆われている場合は、適量をカットしてください。
- 2** 接続する車両ハーネスを確実にガイド溝へ挿入してください。
- 3** 車両ハーネスをガイド溝に収めた後、分岐コネクタを折り返し、仮止め状態を作りプライヤー等の工具を使用して左右のロックがかかるまで確実に挟み込んでください。（クリック音を確認）
- 4** 分岐コネクタの異音防止のため、ビニールテープを巻いて処理してください。

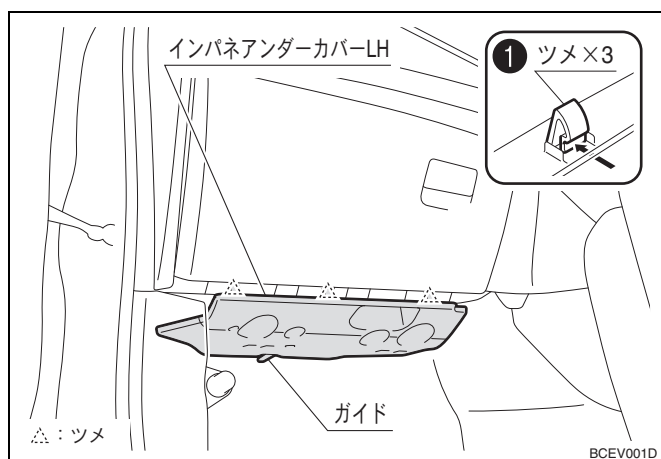
車両部品の取りはずし

詳細は修理書を参照してください。



BCEZ023E

車両部品の取りはずし要領

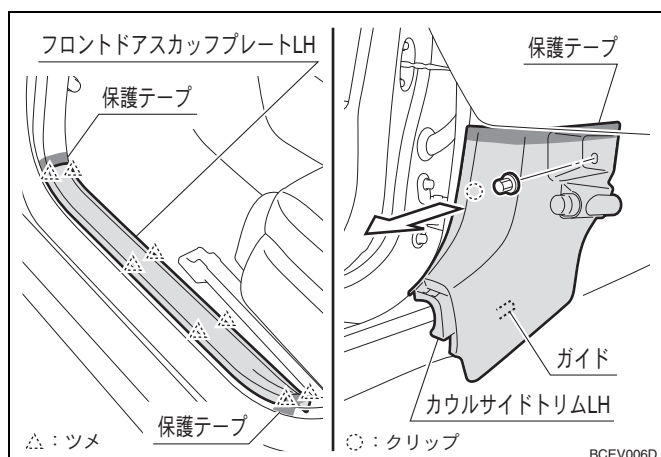


BCEV001D

- P4-1** (1) ① に従い、ツメ (3箇所) の嵌合をはずし、インパネアンダーカバー LH を取りはずす。

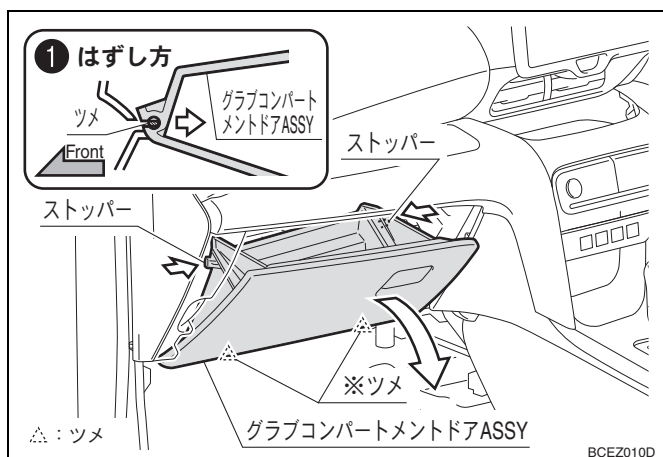
アドバイス

装着車のみ取りはずしてください。

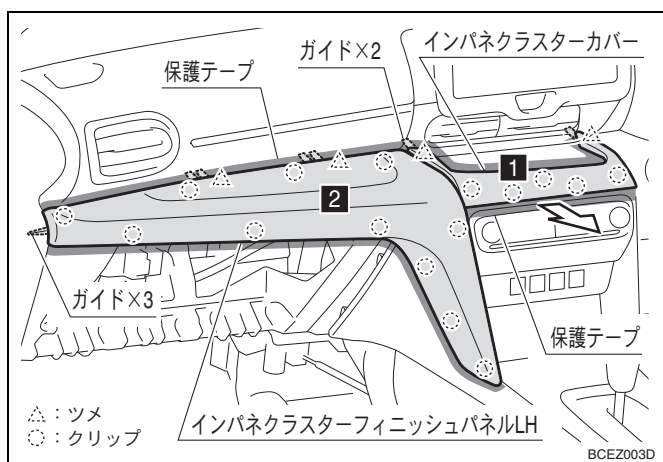


BCEV006D

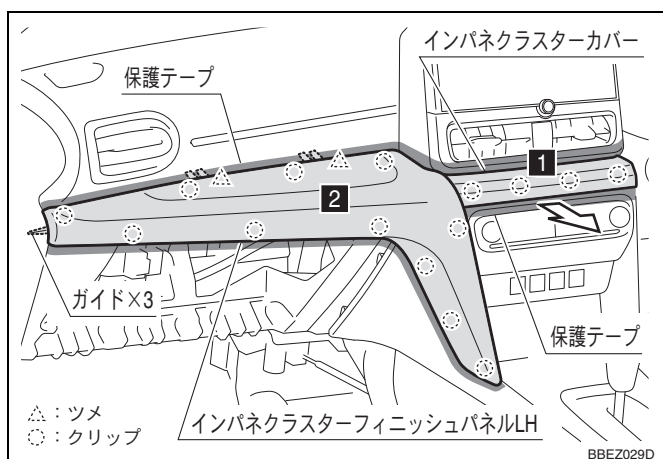
- P4-2** (1) 保護テープを貼り付ける。
(2) ツメ (8箇所) の嵌合をはずし、フロントドアスカッププレート LH を取りはずす。
(3) 樹脂ナット (1個) をはずす。
(4) クリップ (1箇所) の嵌合を矢印方向にはずし、カウルサイドトリム LH を取りはずす。



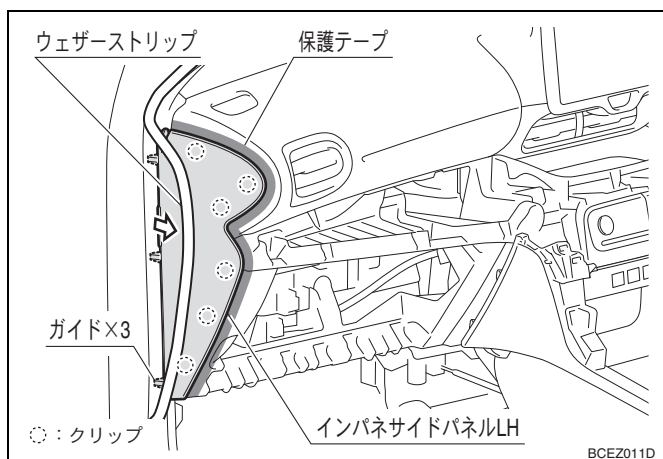
- P5-1**
- (1) ストッパー (2 箇所) をはずし、グラブコンパートメントドア ASSY を水平状態に傾ける。
 - (2) ① に従い、※ツメ (2 箇所) を矢印方向にはずし、グラブコンパートメントドア ASSY を取りはずす。



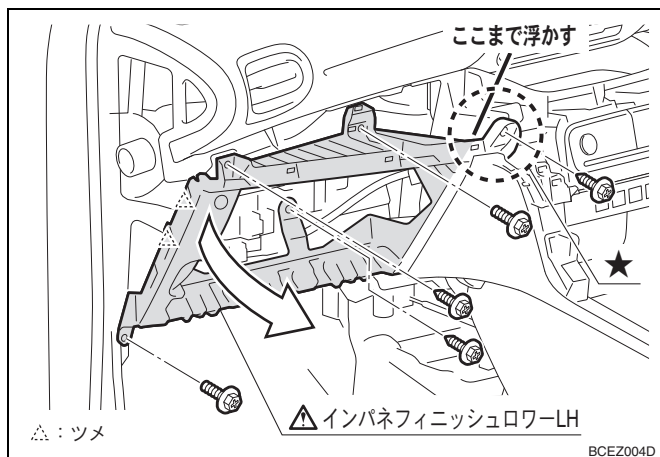
- P5-2** <～2026年3月>
- (1) 保護テープを貼り付ける。
 - (2) ツメ (2 箇所) 及びクリップ (5 箇所) の嵌合を矢印方向にはずし、インパネクラスターカバーを取りはずす。
 - (3) ツメ (2 箇所) 及びクリップ (11 箇所) の嵌合をはずし、インパネクラスターフィニッシュパネル LH を取りはずす。



- P5-3** <2026年3月～>
- (1) 保護テープを貼り付ける。
 - (2) クリップ (4 箇所) の嵌合を矢印方向にはずし、インパネクラスターカバーを取りはずす。
 - (3) ツメ (2 箇所) 及びクリップ (11 箇所) の嵌合をはずし、インパネクラスターフィニッシュパネル LH を取りはずす。



- P5-4**
- (1) ウェザーストリップをめくる。
 - (2) 保護テープを貼り付ける。
 - (3) クリップ (6 箇所) の嵌合をはずし、インパネサイドパネル LH を取りはずす。

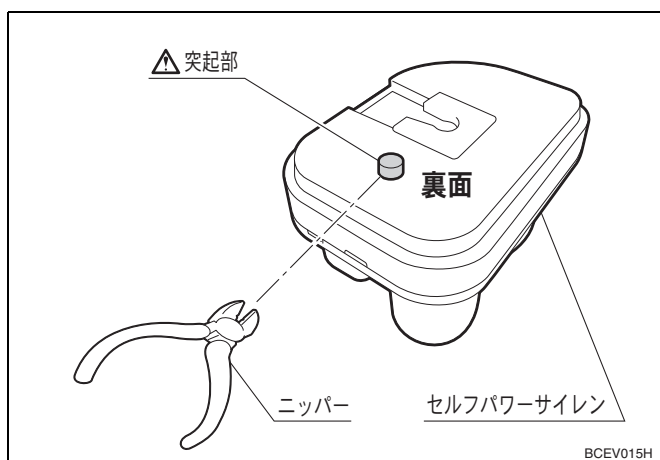


- P6-1** (1) スクリュー (3 本) 及びボルト (2 本) をはずす。
 (2) ツメ (2 箇所) の嵌合をはずす。
 ※配線作業はインパネフィニッシュローワー LH を矢印方向に浮かせ、作業を行ってください。

⚠ 注意

★部、破損防止のため、作業中は浮かせ過ぎないように注意してください。

配線前準備



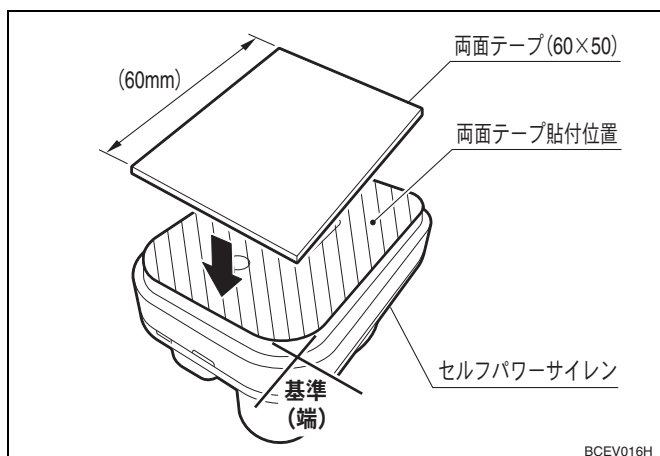
P6-2 セルフパワーサイレン

- (1) セルフパワーサイレン裏面の突起部をニッパー等で切断する。

⚠ 注意

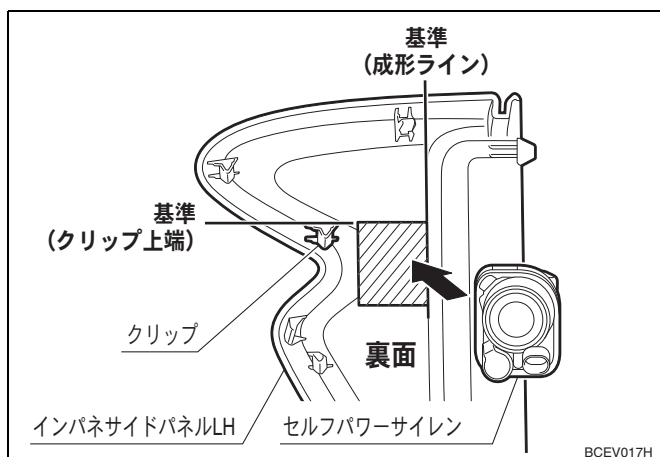
突起部を切断する際は、必ず保護メガネを着用してください。

- (2) バリ・エッジをヤスリで取り除く。



P6-3

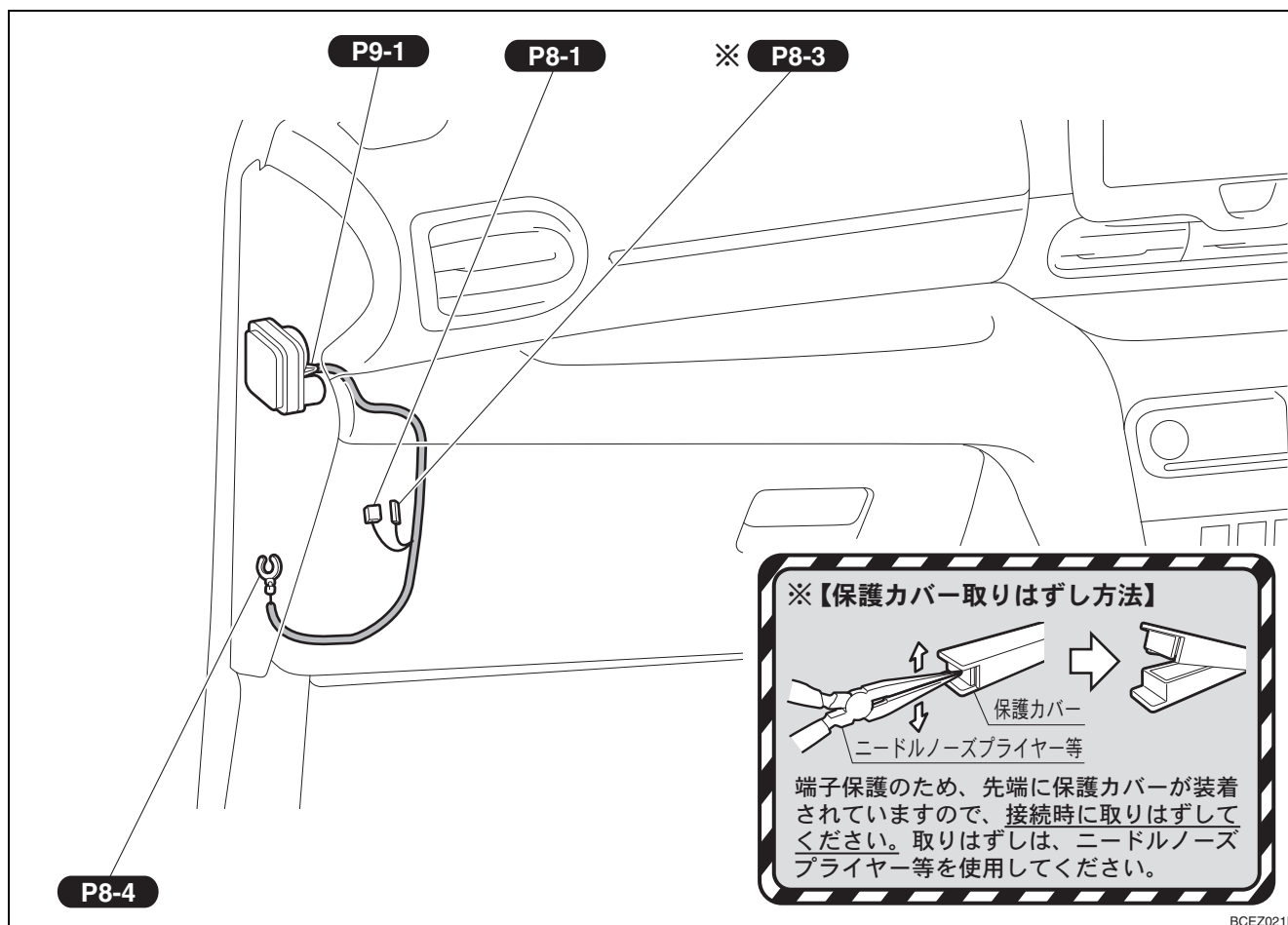
- (1) セルフパワーサイレンを脱脂剤等で洗浄する。
 (2) 両面テープ (60 × 50) をセルフパワーサイレンに貼り付ける。



P6-4

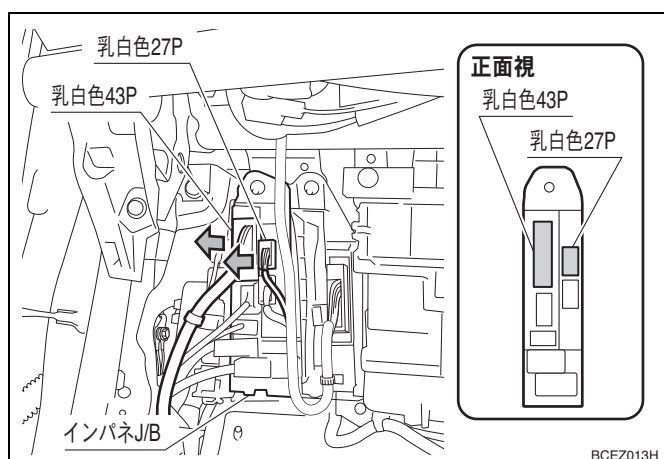
- (1) セルフパワーサイレン取付位置 (斜線部) を脱脂剤等で洗浄する。
 (2) セルフパワーサイレンをインパネサイドパネル LH に取り付ける。

配線概要



以降のイラストは、配線・固定のイラストを見やすくするためにインパネフィニッシュローワー LH がはずれた状態を示しています。

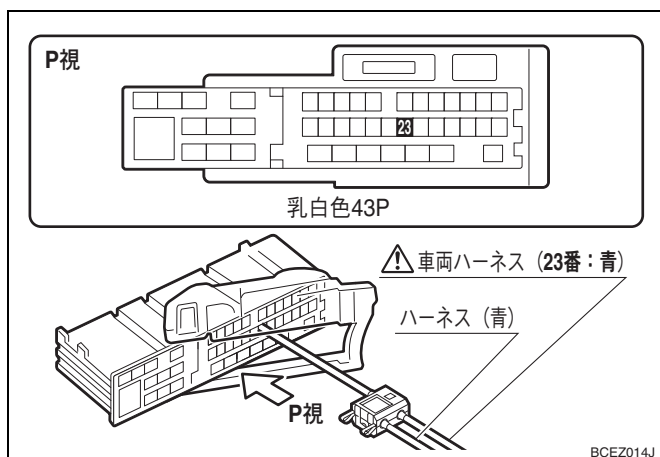
車室内の配線



助手席の配線

P7-1 インパネ J/B の配線

- (1) インパネ J/B の乳白色 43P コネクター及び乳白色 27P コネクターを取りはずす。



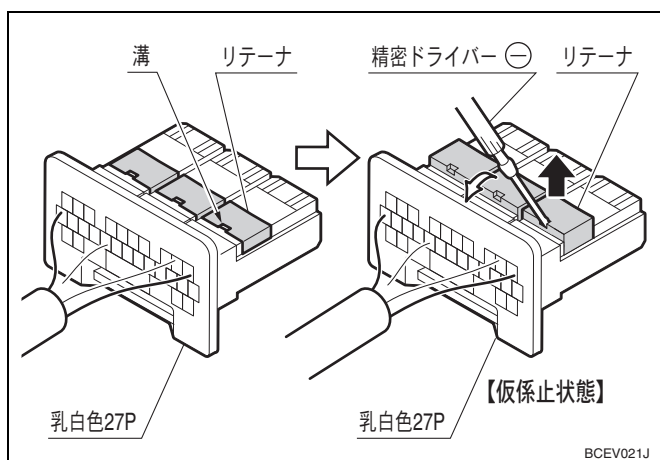
P8-1

- (1) ハーネスの分岐コネクタ（青コード）を、乳白色 43P コネクタの 23 番コード（青）に接続する。

⚠ 注意

コネクタ内に同色コードがある為、端子番号及び線色を確認し、誤った接続をしないよう充分注意してください。

- (2) 乳白色 43P コネクタを復元する。

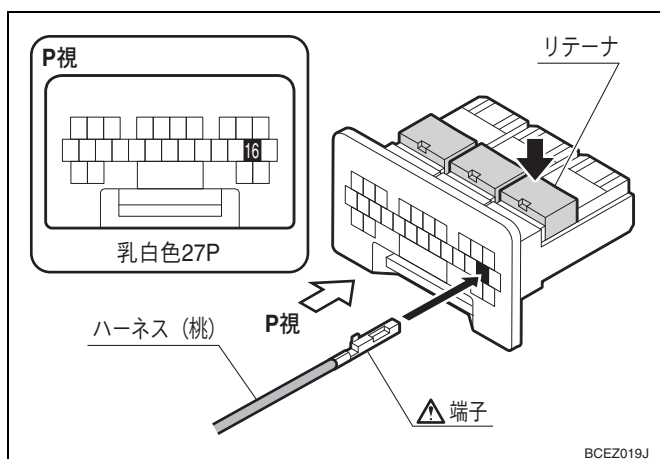


P8-2

- (1) 精密ドライバー ⊖ を乳白色 27P コネクタの溝に挿し込み、リテーナを仮係止位置まで戻す。
- (2) リテーナのロックが仮係止状態であることを確認し、以降の作業を行う。

⚠ 注意

誤ってリテーナ及びコネクタを破損した場合は、新品に交換してください。



P8-3

- (1) 保護カバーを取りはずす。
- (2) 乳白色 27P コネクタの 16 番に、ハーネスの端子（桃コード）を挿入し、リテーナを確実にロックする。

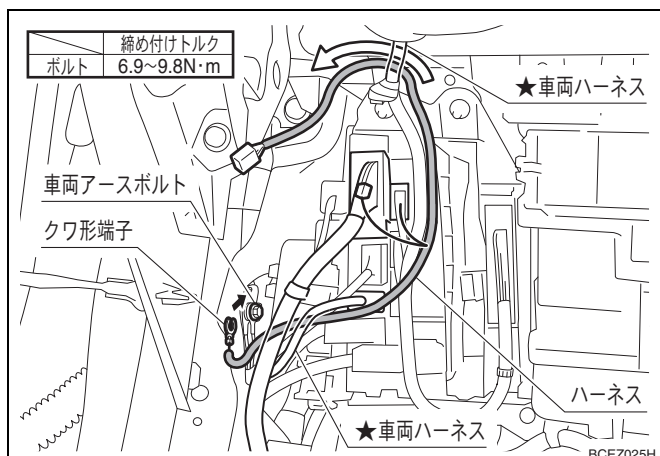
⚠ 注意

車両を損傷する恐れがある為、端子番号を確認し、誤った位置に端子を挿入しないよう充分注意してください。

👉 アドバイス

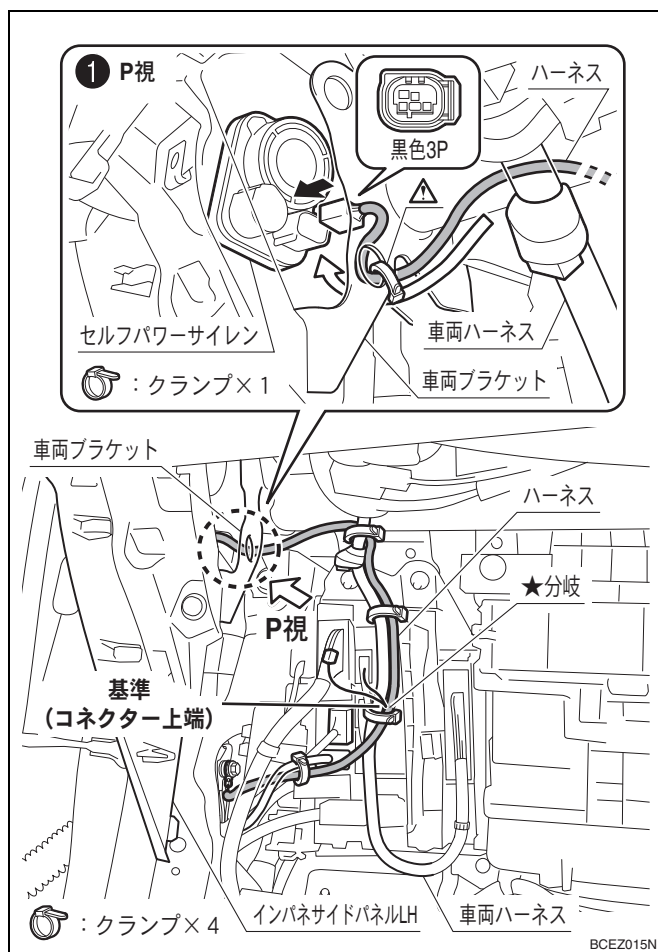
誤った位置に端子を挿入した場合は、SST【品番：09991-00520】を使用し、正しい位置に挿入し直してください。

- (3) 乳白色 27P コネクタを復元する。



P8-4 アースの配線

- (1) ハーネスを★車両ハーネスの前方に通す。
- (2) 締め付けトルク表に従い、ハーネスのクワ形端子を車両アースボルトに接続する。

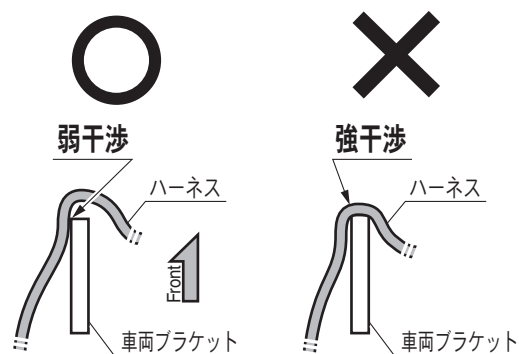


P9-1 ハーネスの固定

- (1) ハーネスの★分岐を基準に合わせ、車両ハーネスに固定する。
- (2) ハーネスを車両ハーネスに固定する。
- (3) インパネフィニッシュローワー LH 及びインパネサイドパネル LH を復元する。
- (4) ① に従い、ハーネスを車両ブラケットの前方に通し、黒色 3P コネクターをセルフパワーサイレンに接続する。
- (5) ① に従い、ハーネスを車両ブラケットに固定する。

⚠ 注意

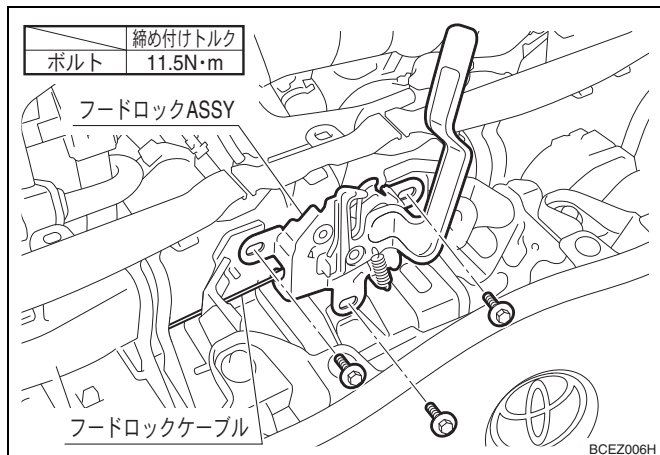
ハーネスは、車両ブラケットのエッジ部に対して、**強干渉しない**よう固定してください。



上面視断面図

エンジンルームの配線

用品『リモートスタート』と同時装着する場合は、どちらかで“エンジンルームの配線”を行ってください。

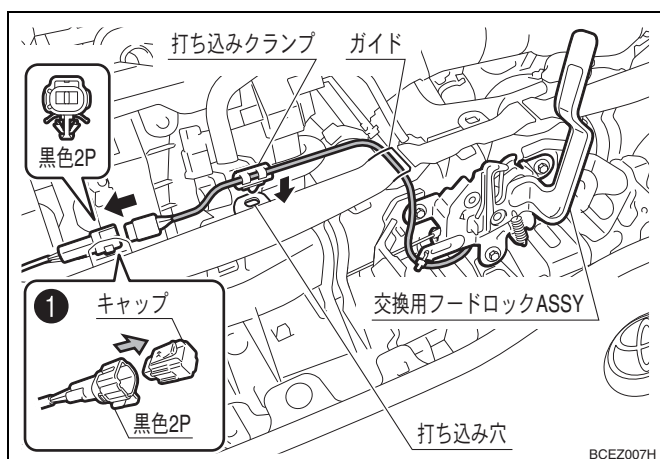
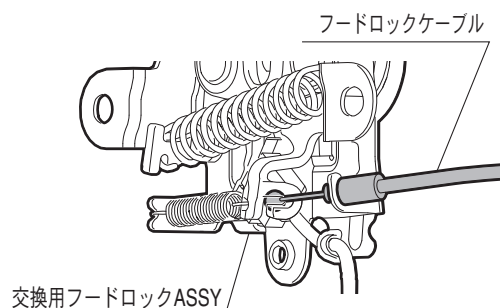


P10-1 フードロック ASSY の交換

- (1) 車両フードロック ASSY のボルト (3 本) をはずす。
- (2) フードロックケーブルをはずし、車両フードロック ASSY を取りはずす。
- (3) フードロックケーブルを交換用フードロック ASSY に取り付け、締め付けトルク表に従いボルト (3 本) で固定する。

👉 アドバイス

フードロックケーブルを取り付けていない状態でフードを閉めると、ボンネットが開けられなくなる為、フードロックケーブルは確実に取り付けてください。



P10-2

- (1) 交換用フードロック ASSY ハーネスをガイドに通し、打ち込み穴に固定する。
- (2) ① に従い、黒色 2P オプションコネクターのキャップを取りはずす。

👉 アドバイス

取りはずしたキャップは使用しません。

- (3) 交換用フードロック ASSY の黒色 2P コネクターを黒色 2P オプションコネクターに接続する。

作動確認



アドバイス

作動確認の前に、配線や取り付けに異常がないことを確認してください。

セキュリティ機能の切り替え

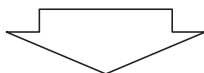
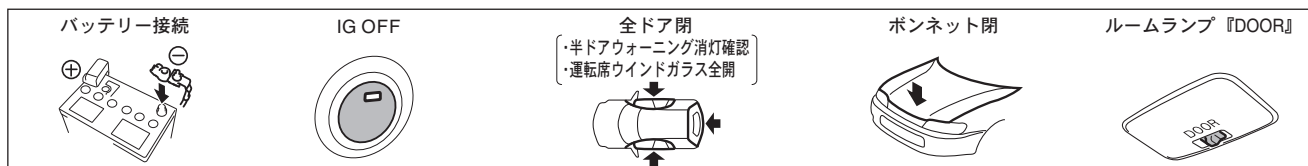


セキュリティ機能の切り替えが未実施の場合、オートアラームが作動しません

- ① バッテリーの（－）側ケーブルを取り付けてください。
- ② VC開発部発行『トヨタ純正（用品）オートアラームサービス資料』に従い、作業してください。

作動確認

以下の手順に従い作動確認を行ってください。



No.	作動確認項目	異常時の点検箇所
1	車両標準ワイヤレスドアロックでロックし、30秒以上経過後、ボンネットを開けてください。 車両ホーン及びセルフパワーサイレンで警報しますか？ （アンロックまたはエンジン始動で警報停止）	P8-1 P8-3 P8-4 P9-1 P10-2

復元作業

「作動確認」完了後、下記の点に注意し、取りはずした車両部品を復元してください。

⚠ 注意

- ① 車両及び用品ハーネスが噛み込んでいないこと
- ② ネジ類の締め忘れ、クリップ等の半嵌合がないこと
- ③ コネクター類の嵌め忘れ、または半嵌合のないこと
- ④ 車両部品にキズを付けないこと
- ⑤ ドアロック・パワーウインド・ハザード等、電気系統に異常のないこと

バッテリー復元時の注意事項

バッテリー復元作業終了後に、車両システムによっては初期化が必要な場合があります。車両修理書を参考に初期化作業を行ってください。

※車両システムの初期化には、GTS+等のツールが必要な場合があります。

配線図

